

コロナ禍における 八頭町社会教育

八頭町教育委員会事務局 社会教育課
尾崎 俊

八頭町における社会教育の現状

- ▶ 新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの事業が中止、変更になった。
- ▶ イベント、事業の中止により、地域の交流が減少。



八頭町における社会教育の現状

▶ 何かできることを考えなくては...



- コロナ禍の中でも、感染症対策を行いながらの事業開催。
- 多くの団体と協力しながら取り組みを進めていく。

中学生ジュニアリーダー 「ブルーバード」の取り組み

- ▶ 八頭中学生をメンバーとして、ボランティア活動を行っている団体。
- ▶ コロナ前は地域のお祭りへの参加等を行っていたが、コロナ禍によりまつり等が行われなくなり、活躍できる場所が無くなってしまっていた。



中学生ジュニアリーダー 「ブルーバード」の取り組み

- ▶ 八頭町社会福祉協議会主催の福祉まつりに、事前にビデオカメラで動画を撮影し、司会進行として参加させていただきました。

家庭教育支援チームの取り組み

- ▶ 平成20年度から家庭の教育力向上を目的として地域での家庭教育をサポートする家庭教育支援チームを設置している。
- ▶ 「ともだち広場」という名称で、親子交流事業を行っていたが、コロナ禍ということで中止していた。

家庭教育支援チームの取り組み

- ▶ 食生活改善推進員とタイアップし、コロナ対策を行いながら「ともだち広場」を開催。
- ▶ まちづくり委員会の子ども対象事業に参加、地域の子どもたちの様子について話を伺った。

家庭教育支援チームの取り組み



感染症対策を行いながらの事業実施、 ICTの活用

- ▶ 延期していた令和3年と、令和4年成人式を参加者全員にPCR検査を実施し、Youtubeでもライブ配信を行いながら開催。
- ▶ 芸能団体に、活動映像を録画してもらい、作品展示とともに録画映像を投影し、公民館祭を開催。
- ▶ 講演会等をZOOM等を活用し分散会場で行えるように。

感染症対策を行いながらの事業実施、 ICTの活用



成果・課題

- ▶ 今まで関わっていなかった団体と協力しながら事業を行うことができた。
- ▶ 県内の新型コロナウイルス感染状況を見ながらではあるが事業を行うことができた。
- ▶ 感染状況によっては、準備を行っていても開催できない事業も...

芸術文化交流プラザ「あーとふる八頭」

- ▶ 町民の文化の発展、芸術及び交流の拠点とするため、旧安部小学校を改修し、11/3にオープン。



芸術文化交流プラザ「あーとふる八頭」

- ▶ 1階には安部地区公民館が入り、地域交流を主としたスペース。
- ▶ 2階は芸術を主としたスペースで、名誉町民の橋本興家記念館と八頭町在住の山本虎之助記念館。
- ▶ 3階は文化を主としたスペースで、名誉町民の本田實記念館と発掘出土品展示室。その他、企画展示に対応した展示室が二部屋ある。